



事業名：水利施設等保全高度化事業
(基幹水利施設保全型)

地区名：宮下排水路 地区

地区の概要

本地区は、士別市北部多寄町の水田地帯。
平成3年に道営ほ場整備事業多寄東地区で整備された排水路。
造成後、30年以上が経過し、老朽化が進んだため、更新整備を行う。

士別市田園環境マスタープラン
整備構想図

宮下排水路



凡 例	
赤線	河川排水路
緑線	調整池
青線	調整池

注 記	
①	調整池設置計画位置
②	調整池設置計画位置
③	調整池設置計画位置
④	調整池設置計画位置
⑤	調整池設置計画位置
⑥	調整池設置計画位置

距離	0	100	200	300	400	500	600	700	800	900	1000
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100	0	100	200	300	400	500	600	700	800	900	1000
200	0	100	200	300	400	500	600	700	800	900	1000
300	0	100	200	300	400	500	600	700	800	900	1000
400	0	100	200	300	400	500	600	700	800	900	1000
500	0	100	200	300	400	500	600	700	800	900	1000
600	0	100	200	300	400	500	600	700	800	900	1000
700	0	100	200	300	400	500	600	700	800	900	1000
800	0	100	200	300	400	500	600	700	800	900	1000
900	0	100	200	300	400	500	600	700	800	900	1000
1000	0	100	200	300	400	500	600	700	800	900	1000

地区概要図・事業概要

工事内容

農業用排水施設

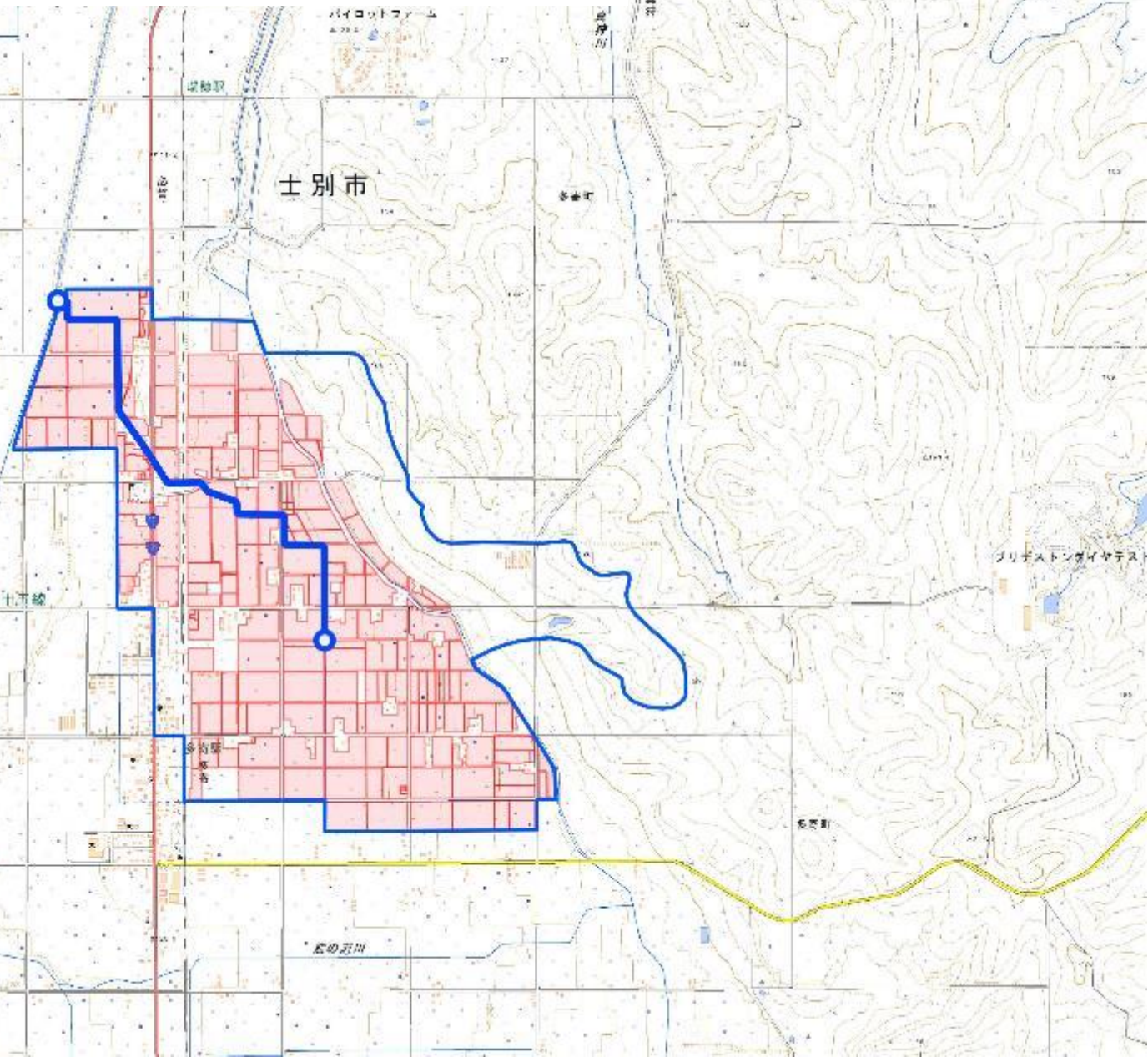
排水路 2.5km

受益面積

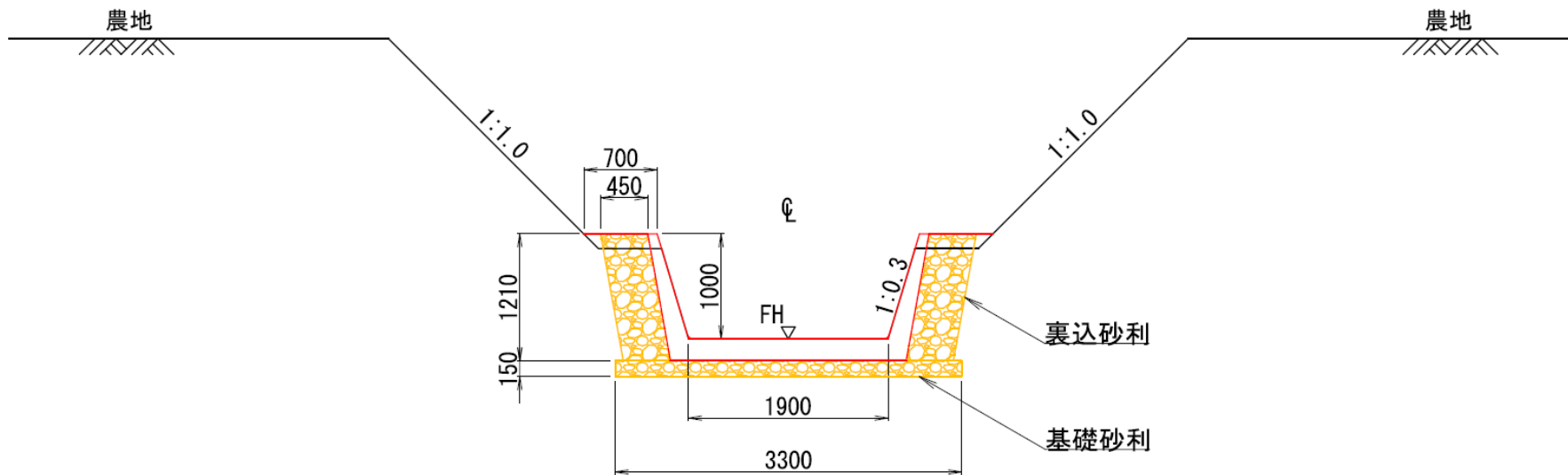
216ha

総事業費

800百万円



計画断面



コンクリートフリユーム

用水路の状況

現況の排水路は、H鋼の柱にコンクリート板挟む柵渠工法により整備されている。

- ・コンクリート板の背面の土が吸い出されている。
- ・コンクリート板が折れている。
- ・H鋼の腐食が進んでいる。
- ・河床が浅掘されている。

排水路の状況写真



背面の吸い出し



コンクリート板の破損



河床の浅掘



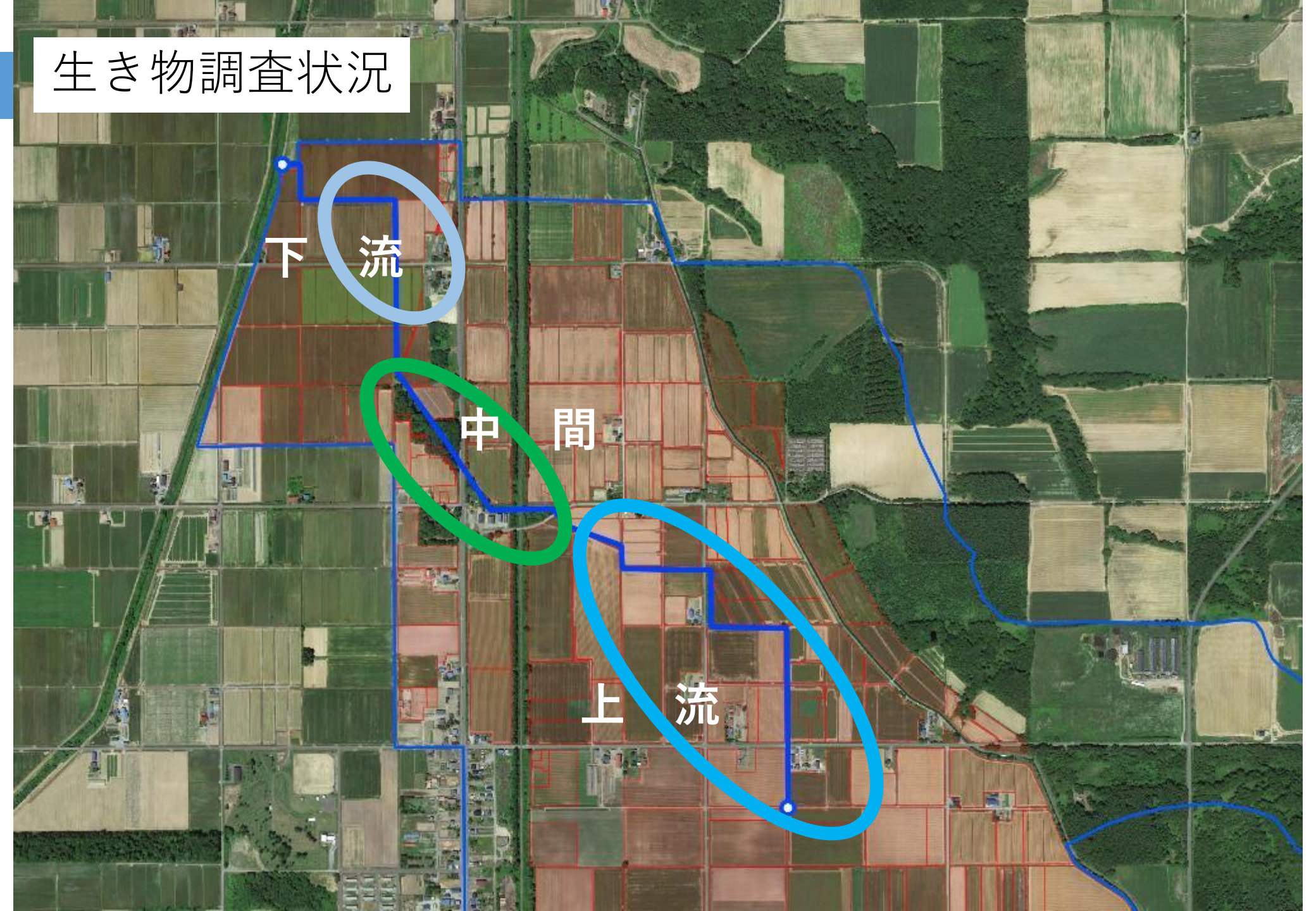
H鋼の腐食

生き物調査状況

下流

中間

上流



上流



生き物調査 上流



オオアザミ (帰化植物)



オドリコソウ (帰化植物)



セイヨウタンポポ (帰化植物)



タチイヌノフグリ (帰化植物)



シラカバ、ハンノキ、ハナウド、オオイタドリなど



生き物調査 中流



オオバナノエンレイソウ



エゾトリカブト



ニリンソウ



ミズバショウ

生き物調査 中流



アマドコロ



オオハナウド

生き物調査 下流



ハルザキヤマガラシ？（帰化植物）



フランスギク（帰化植物）

生き物調査 動物

5月26日の調査では、排水路内に底生生物や水生昆虫は確認できなかった。

ちょうど代掻きが行われていたことが影響か？

6月13日の現地調査時に起点より490mより下流で、捕獲はできなかったが、曲点工などの深みにウグイの幼魚と思われる20匹程度の集団が何度か確認できた。



生き物調査 動物



エゾアナアキゾウムシ？



クロアオカミキリモドキ



ナガメ (カメムシ)



オツネトンボ



タヨロマ川

地域環境のまとめ

- ・ 下流・上流部は隙間なく農地として利用されており、水稻の他小麦、大豆が転作作物として栽培されている。
- ・ 道路や水路の法面には、帰化植物が優勢に繁茂している。
- ・ 中流部は排水路兩岸に在来種が主の林帯が形成されている。
- ・ 水生生物については、タヨロマ川から最初の落差工までの間にウグイが確認できた。
- ・ 工事区間全区間において、特に稀少な動植物は確認できなかった。

本地区での対応等

特に保全が必要な動植物が確認されなかったことから、環境負荷を最低限の工事を行う。

- ・ 低排騒の重機使用。
- ・ 汚濁水流失の防止。
- ・ 工事中には、希少種などの確認を行いながらの工事実施。